

## 日本内分泌病理学会 理事会 議事録

日 時：2012年4月20日（金）7:30-8:30 a.m. 朝食付

場 所：名古屋国際会議場 1号館3階 会議室 131/132

出席者：成瀬光栄 理事長、山田正三、松野彰、島津章、

田辺晶代、覚道健一、笹野公伸、山下俊一 の各理事、

吉本勝彦、方波見卓行 の各監事、屋代隆 HP 委員、長村義之 顧問、

欠席者：寺本明、高見博、戸田修二、加藤良平 の各理事、(理事委任状提出3通)

亀山香織 次期理事候補者

議 題：

<審議事項>

### 1. 役員改選の件

- 1) 選挙開票結果と次期理事候補者の承認
- 2) 次期理事長候補者の選出
- 3) 次期監事候補者について
- 4) 次期理事長推薦理事候補者について

### 2. ホームページ改善の件

### 3. コンサルテーションの件

### 4. 学会名称の変更の件

### 5. 佐野壽昭記念賞の件

<報告事項>

### 1. 第15回学術総会（2011年度、内分泌学ウィーク2011）の報告

### 2. 第16回（2012年度）学術総会の概要

\* 「内分泌病理スライドセミナー」の開催について

### 3. 第17回（2013年度）学術総会会長の正式決定について

### 4. 第86回（2013年度）日本内分泌学会学術総会プログラム委員会の結果

### 5. 日本病理学会の専門医更新単位取得について

<その他>

事務局業務委託費について

冒頭、成瀬理事長より欠席理事から3通の委任状が提出されているので、定足数を満たし本理事会は成立する旨報告があり、引き続き、同理事の司会により議事進行が行われた。

<審議事項>

### 1. 役員改選の件

#### 1) 選挙開票結果と次期理事候補者の承認

・成瀬理事長より、2012年1月に実施された選挙における当選者5名が下記の通り報告され、全員次期理事候補者として秋の評議員会・総会に諮ることが承認された。

次期理事候補（5名、任期：2期4年、2012年10月～2016年総会日）

- 1 島津 章 16票（当選）
- 2 亀山香織 13票（当選）
- 3 吉本勝彦 11票（当選）
- 4 屋代 隆 9票（当選）
- 5 戸田修二 8票（当選）

2) 次期理事長候補者(任期2年：2012年10月～2014年総会日)の選出

・上記5名の次期理事候補者及び今回留任の5名の理事（成瀬、覚道、笹野、加藤、山田）を対象として互選の結果、成瀬理事を次期理事長候補者に選出し、評議員会・総会に推薦することとした。また、同理事もこれを受諾した。

3) 次期監事候補者（1名、任期4年：2012年10月～2016年総会日）の推薦

・成瀬次期理事長候補者より、松野彰理事を次期監事候補者に推薦したいとの意向が示され、秋の評議員会・総会に諮ることが承認された。また、同理事もこれを受諾した。

なお、方波見監事は留任（任期：～2014年総会日）である。

4) 次期理事長推薦理事候補者（3名以内、任期2年：2012年10月～2014年総会日）の推薦

・成瀬次期理事長候補者より、山下俊一理事を次期理事候補者に推薦したいとの意向が示され、秋の評議員会・総会に諮ることが承認された。また、残り2名枠については現理事からの意見や理事選挙結果も参考に後日持ち回り理事会に諮ることとした。

## 2. ホームページ改善の件

・屋代 HP 委員より、デザイン等を大幅に改善したので、近々新画面へ移行するとの予告・説明があり、承認された。また、学会ロゴマーク作成の提案があり、これを了承した。

## 3. コンサルテーションの件

・成瀬理事長より、先に覚道広報筆頭理事提案のコンサルテーション規約の改訂案（添付別紙）が提示され、意見交換の結果、改訂案通り承認された。但し、規約中、コンサルテーション担当候補者については、覚道理事・笹野理事・加藤理事が再確認のうえ、後日持ち回り理事会に諮って固定することとした。

（再確認作業用に、事務局から三理事へ全会員のリストを送付する。）

## 4. 学会名称の変更の件

・成瀬理事長より、会員数や財務の状況を見ながら継続審議にしたいとの意向が示され、これを了承した。

## 5. 佐野壽昭記念研究賞の件

・成瀬理事長より、標記賞を設けるとの前回理事会決議に基づいて、要項案が概略下記のように提案された。

1. 名称：日本内分泌病理学会佐野壽昭記念研究賞

(JEPS Toshiaki Sano Memorial Research Award)

2. 選考基準：

(1) 内分泌病理学の分野で卓越した業績を有し、本学会において優れた演題の発表を行った研究者に授与する。

(2) 当該年度末で満 50 歳未満、日本内分泌病理学会の会員であること。

3. 選考委員会委員：他の研究賞に同じ

4. 応募書類の提出：他の研究賞に同じ。但し、応募書類は専用の様式を設ける。

・意見交換の結果、当該学会での発表は不要、授与は副賞なしで賞状のみとすることが合意された。また、選考基準（対象領域＝下垂体限定か全般か、年齢規程、卓越した業績者リストアップの方法等）についての具体案を、山田庶務筆頭理事を中心に庶務委員会で検討し、秋の理事会に提案することとした。

#### <報告事項>

##### 1. 第 15 回学術総会（2011 年度、内分泌学ウィーク 2011）の報告

・山田第 15 回会長より、三学会のウィークリレー開催のメリット等について報告があった。また、屋代コーディネーターより、三学会で総括を行い今後につなげたいとの意向が示された。

・同じく山田第 15 回会長より、謝金に対する源泉税を所轄の税務署に納付したこと、また剰余金を学会の一般会計へ繰越したことが報告された。なお、決算書は監査後、秋の理事会に提出される。

・山田庶務理事より、会員の状況について 2011 年度は前年度比で 51 名と大幅に増加したこと、また学会会期中に 39 名の新入会があったことが報告された。この結果に関し、新しい企画「臨床医のための内分泌病理学セミナー」が寄与したとの見解が示された。

##### 2. 第 16 回（2012 年度）学術総会の概要

・笹野第 16 回会長より、下記のように概要が紹介された。

開催日：2012 年 10 月 11 日（木）～10 月 12 日（金）

会 場：長陵会館（記念ホール・大会議室）

演題締切日：2012 年 7 月 20 日（金）

提出先メールアドレス：endopath2012-office@umin.net

日本語、英語どちらでも可（様式は日本内分泌病理学会 HP に掲載）

プログラムは、

特別講演 1：鈴木眞一（福島県立医科大学医学部 器官制御外科学講座）

特別講演 2：佐藤文俊（東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科）

特別講演 3：ALFRED K.Y. LAM（Head of Pathology in School of Medicine, Griffith University）のほか、一般講演（ワークショップ）、症例演題、Sponsored Lecture 等で、プログラム骨子は WEB で公開予定

なお、理事会は 10 月 11 日（木）の 11 時～行なわれる。

・同じく笹野会長より、「内分泌病理スライドセミナー in Sendai 2012 ～専門医志望者への基礎からの内分泌病理所見の解説～」を 10 月 13 日（土）に東北大学医学部顕微鏡実習室において、下記講師により日本内分泌病理学会・NPO 法人東北内分泌研究会の共催で開催するとの紹介があり了承された。

下垂体疾患：井下尚子（虎ノ門病院病理部）

甲状腺／副甲状腺疾患：亀山香織（慶応義塾大学医学部病理診断部）

膵消化管神経内分泌疾患：笠島敦子（東北大学病院病理部）

副腎疾患：笹野公伸（東北大学医学部病理診断学／東北大学病院病理部）

参加登録は定員：先着 120 名、参加費は事前登録：10,000 円(9/1 以降：13,000 円)である。

### 3. 第 17 回（2013 年度）学術総会会長の正式決定について

・成瀬理事長より、2011 年 11 月の理事会・評議員会・総会時点で第 17 回暫定会長であった方波見監事が会長を受諾されたとの報告があり、同監事が正式に会長に就任した。

・方波見監事より挨拶があり、2013 年 10 月頃に横浜（または東京）で金・土曜日に開催予定とのことであった。

### 4. 第 86 回（2013 年度）日本内分泌学会学術総会プログラム委員会の結果

・プログラム委員である吉本監事より、前日の 4 月 19 日に開催された標記プログラム委員会において、当学会提案のテーマが下記のように採用されたとの報告があった。

シンポジウム 4 提案のうち、「副腎腫瘍の良悪性と臨床予後はどこまで現在分かるのか？」が採用、「IgG4 甲状腺炎」は部分採用。

教育講演 11 提案のうち、「質量顕微鏡を用いた病態解析」及び「原発性副甲状腺機能亢進症の臨床：診断、手術、病理まで」が採用、「神経内分泌腫瘍の予後因子と治療標的治療 update - ENET ( European Neuroendocrine Tumor Society)からの報告 」及び「甲状腺の稀な腫瘍の病理 」は部分採用。

クリニカルアワー 5 提案のうち、「成人成長ホルモン欠損症の問題点と治療」及び「悪性褐色細胞腫の診断と治療をめぐる新展開」が採用、「原発性アルドステロン症診療の新展開」は部分採用。

・テーマ追加等、意見があれば至急吉本委員へ連絡することが要請された。

### 5. 日本病理学会の専門医更新単位取得について

・笹野理事より、参加者は 5 単位、発表者（＝演者）はさらに 2 単位が加算されることが報告された。

<その他>

#### 事務局業務委託費について

・成瀬理事長より、現在の年間 5 万円を 10 万円にしようかとの提案があり、全会一致でこれを承認した。本年度から適用となる。

以上

（記録：事務局・岸、理事長及び各筆頭理事校閲済み）